

## プロローグ 月下の出会い

こんばんわ、いたいけな男の子君。私はメイア

通りすがりの大魔法使いよ

あら、恐怖で何も考えられないって顔ね

そりゃそうよね、今の今までモンスターに襲われてたんだもの

自分が生きてるのが不思議、て感じかしら？

大丈夫、無理に話さなくていいわ

呼吸をするのも精一杯でしょう

足腰に力が入らなくて立てないんでしょ

……フフ、涙<sup>なみだ</sup>を目一杯<sup>め いっぱい</sup>にためて、今にも泣き出しそうね。女の子みたい

大丈夫、心配しないで。もう君を襲<sup>おそ</sup>う怪物<sup>かいぶつ</sup>はいないわ

だからほら、落ち着いて深呼吸しましょう

はいすー、はー。すー、はー

上手よ、その調子で続けて。はいすー、は一。すー、は一

うん、やっと落ち着いてきたわね。今は何にも考えなくていいわ。目

の前の地面とか、壁<sup>かべ</sup>とかを見てるだけでいい

なんならお姉さんを見つめてもいいわよ？

あ、今顔<sup>そむ</sup>背けた。フフ、私の衣装<sup>いしょう</sup>がセクシー過ぎたかしら

強がってるの？ かーわいい♡お年頃の男の子って感じ

ほら、見たいならもっと見てもいいのよ

ごめんね、君みたいな可愛い子を見るとからかいたくなっちゃうの。

別に食べちゃおうってわけじゃないから、安心してね

ていうか……

どうして君みたいな子が、こんな夜に路地裏<sup>ろじうら</sup>を歩いてるの？ 夜はモンスターが出るって知らなかった？

知ってるけど？ (聞き返す感じ)

んー……確かに夜はモンスターが<sup>しゅつぽつ</sup>出沒する分お給金が多いけど、  
それでも君みたいに細い子が<sup>である</sup>夜出歩くのは危ないわ  
お金がいるって……<sup>じじょう</sup>なにか事情があるの？

っ！君、それ、<sup>どれい</sup>奴隷の<sup>こくいん</sup>刻印……！（驚いた様子）

……なるほどね。確かに、奴隷出身の子は<sup>こんきゆう</sup>ほぼ例外なく困窮した  
生活を送ることになる  
それはその<sup>こくいん</sup>刻印が呪いのように付きまとうから、だと

ふーむ……

（訪れる沈黙）

待ちなさい。どこに行こうっていうの

ていうか君、大事なことを一つ忘れてるわよ

命を助けてもらっておいて<sup>かんしゃ</sup>感謝の言葉だけって……それじゃあ釣り  
合いがとれないんじゃないかしら？

お金なんかじゃないわよ

君には皮肉に聞こえるかもしれないけど、私有名な魔法使いだから

お金には困ってないの

でも……他のことで困ってるの

弟子になり得る人間がいないのよ。皆私の魔法について知りたがる

けど、根底にあるのは富や名声への渴望

そんな人間に私は魔法を受け継がせたくない

フフ、ここまでの話でだいたいの流れは分かるでしょ

唐突な話だとは思うけど、君、私の弟子になりなさい

あら、話が突飛すぎて思考が追いついてないって顔ね

それとも奴隷の刻印をもった自分を弟子にするとか何考えてるんだ

この人、とか思ってる？

フフ、正直でよろしい。ま、確かにそう思うわよね

怪しい、何されるか分からない、ただの同情……色んな考えが浮か

んできてるんでしょ

じゃあ……そうね、ちょっと捉え方を変えてみましょうか

どうして君は助かったんだと思う？偶然？幸運？それとも日々の

善行の賜物？

ブー、残念。どれも不正解

答えは……私が君の魔法の才能を見抜いたからで一す

私は魔法のプロフェッショナルだから、人の魔力も見抜けるの

その人の魔力がどんな性質で、どんな属性の魔法を得意としている  
のか

そしてさっき襲われてる君を見た時、確信したの

この子は私の弟子にふさわしいってね

君がこの話を信じられるとか信じられないとかはどうでもいいの

元奴隷だとか関係ない

私は君を弟子にしたいって思ったから、君を助けたの

そして今君は私に対して大きな借りがある

命を救ってもらったっていう、大きな大きな借りがね

……まだ命の恩人に逆らうのかしら？ワガママな子ね

じゃあ何？君は……

(耳元に息を吹きかける)

ふうー……こんな魅力的なお姉さんと一緒に暮らすのは無理、という  
ことを言いたいのかしら

あらあら、顔が真っ赤よ？息も上がってるし膝も笑ってる……かわ  
いい♡

というか、私には君を見殺しにする選択肢もあった  
私がそれをしなかった時点で、君が私の弟子になるのは偶然じゃな  
くて必然だったってこと♡  
というわけで……

これからよろしくね？

## 1 話 王様からの召集

おはよう。朝ごはん任せちゃって悪いわね

昨日は考え事してて、寝るのが遅くなったの

え、何？いつものことだから気にしてない？

……フフ、あの泣き虫君が言うようになったわね。弟子の成長っていうのは、どこか頼もしいけど寂しさもあるわね

……ん？ここを離れるつもりはないから安心しろ？

僕が師匠を守る？……アハ、面白いこと言うじゃない君

まるでプロポーズみたいに聞こえるわよ？弟子のくせに生意気♡

子供扱いするなって言われても無理で一す(子供っぽく言う)

だって君は、いつまで経っても私の可愛い弟子だもの。君の身長が伸びたって、魔法が上手になったってそれは変わらないわ

ほら、むくれないで。ご飯にしましょう

私は顔洗ってくるから、君は料理を並べててくれる？

何から何まで任せちゃってごめんね

……全く悪いと思ってないだろって？フフ、せいかーい

師匠の身の回りのお世話は弟子の仕事でしょ？

私は君の命の恩人なんだから、甲斐甲斐しく世話しなさい

私の弟子っていうだけで、君には余りある幸せでしょ？

ほら、分かったなら準備よろしく♡

は一美味しかった。君ってば、ほんと料理上達したわよね

弟子になりたての頃は料理どころか食器の握り方すら変だったのに

ん？その話はするなって？はいはい、分かりました

弟子いじめはこれくらいにしておきましょうかね(冗談めいた感じ)

あ、そうだ。今日私、夕方<sup>ゆうがた</sup>ごろ用事を済<sup>す</sup>ませに行ってくるわ

まあ今日中には帰ってくると思うけど……もし遅くなっちゃったら、先に寝てていいわよ。

なんか王様の城に呼び出されちゃってね？大事な用事みたいだから、今日中に来るようになって言われてるの

はあ……はっきり言ってかなり面倒ね

別になにか私がやらかした、とかではないみたいよ

<sup>しよめん</sup>  
書面では伝わりづらいから、直接来てほしいんだって

もしかすると日<sup>また</sup>を跨ぐかもだからいつものアレはできないけど、君は  
大丈夫かしら(ニヤついた感じ)

フフ、本当に大丈夫？大丈夫じゃないって顔してるわよ？

もしかして私<sup>きれい</sup>みたいなお姉さんにしごかれないと、イケない身  
体になっちゃった？

<sup>じょうだん</sup>  
アハ、冗談よ。ごめんごめん、もうからかわないわ

とりあえずはそんな訳だから、今日帰ってくるかは分からないわ明

日の午前中とかになるかも

その時<sup>ひるね</sup>にお昼寝できるよう、君は私のベッドの準備しておいて

あ、もちろん<sup>しゅぎょう</sup>修行のノルマもこなしておくのよ

今日の努力は未来の自分のいしずえ。私が師匠<sup>くちす</sup>から口酸っぱく言  
われたことよ

ついでに他の用事も済ませてくるから、早めに出ていくわね

<sup>るすばん</sup>  
お留守番よろしく、未来の大魔法使いさん♡

んー……ちゅっ

アハ、顔真っ赤。そんなウブな反応してちゃ、いつまで経っても私を  
落とせないわよ

ま、そんなところが可愛いんだけどね

じゃあ、またね……明日帰ってきたら、た～～っぷり甘やかしてあげ  
る♡

ん——、疲れたあ。もうほんと大変だったわあ

ありえないわ、あの腐れ王子<sup>くさ</sup>

ん？なあに？何があったのかって？

……そう！ちょっと聞いてよ君！私すっごく大変な思いしたの

だからほら、愚痴<sup>ぐち</sup>言いたいから私の近くに来て？

いつも通り……私の胸の中に

そう、良い子

はあ……こうしてると、疲れが吹き飛ぶわ

なんならずっとこうしていたいもの

ずっとこうしていられたら、本当に幸せなんだけどね

どうもそう言ってもらえないみたいなのよ

もったい 勿体ぶっても仕方ないから、順<sup>じゆん</sup>を追って説明していくわね

まずはそうね……私が王城<sup>おうじょう</sup>に着いたところからね

まあこっちが呼び出されたわけだから、特に検閲<sup>けんえつ</sup>とかはなく、普通に  
王様の所に通されたわ

でも王様は留守<sup>るす</sup>で、そこにいたのは息子の王子だけだった

ごえい 護衛もメイドもいない……なにか変よね？

そうよね。手紙の差出人<sup>さしだしにん</sup>である王様は不在<sup>ふざい</sup>、そして必ずいるべきは  
ずの使用人<sup>しようにん</sup>達もいない

こんなのどう考えてもおかしいわ

王の間に入った瞬間<sup>しゆんかん</sup>、私も思わず杖を握ったわ

でも、特に何か襲撃<sup>しゅうげき</sup>を受けたわけじゃないの

王の間で王子が一人、ニヤニヤして立ってるだけだった

それで、その王子がどうもキナ臭<sup>くさ</sup>いのよ

じつぶつ 実物を見るのは初めてだったけど、一目見るだけで嫌悪感<sup>けんおかん</sup>がわい  
てきたわ

噂<sup>うわさ</sup>には聞いたことあったけど、その噂<sup>うわさ</sup>の真実味<sup>しんじつみ</sup>が増<sup>ま</sup>した感じ

……ああ、噂<sup>うわさ</sup>っていうのはあれよ。色んな女性を食いものにしてる

って噂<sup>うわさ</sup>

ひどい話よね、ほんと

それでね？私は警戒<sup>けいかい</sup>しながら、その王子に聞いたわけ  
王様から大事な用件があると言われて来たのですが、これはどうい  
うことなんですか。何の目的で私を呼び出したんですかって  
そうしたら、あの男は一枚の写真を取り出したわ  
……衣服<sup>いふく</sup>を破られ、身体中に体液を浴びせられたお師匠様の、ね

驚かないで。まだ話には続きがあるわ

その写真を見た瞬間、私はもちろん激昂<sup>げっこう</sup>したわ  
王子を射殺<sup>いころ</sup>するような目で睨<sup>にら</sup>んで、杖<sup>つえ</sup>を向けたの  
でもそこで私はとあることに気づいたわ。

……杖に、魔力がこもらないって

そう、私ははめられたのよ。王様の手紙を釣り餌<sup>つえ</sup>にね

フフ、息が上がってるわよ

なあに？もしかして私を心配してくれてるの？

……大丈夫、今君の目の前にいることが、その証明<sup>しょうめい</sup>じゃない  
特に暴力<sup>ぼうりょく</sup>とかを受けたわけじゃないから安心して  
でもその代わりに、とある勝負を持ちかけられたわ

王子様らしさなんて欠片もない、低俗<sup>ていぞく</sup>で愚<sup>おろ</sup>かしい内容の、ね

どんな内容か気になってたまらないって感じね。大丈夫、ちゃんと教えてあげるわ

でもその前に……ほら、いつもみたいにズボン脱いで

話の内容的にもちょうどいいから、話ながらしてあげる

もう……ほんと、大人になったのに一人で自慰<sup>じ い こう い</sup>行為もできないなんて、恥ずかしくないのかしら

ま、そう躰<sup>しっ</sup>けたのは私なんだけどね

よし、ちゃんと脱げたわね

じゃあ早速、何があったか説明していくわね

でもその前に……君のアソコをぎゅーっと握って、と

いきそうになったらちゃんとお姉さんに報告するのよ？いい？

……よし、いい子

じゃあまずは、私が王子に写真を突きつけられたところからね

その写真には私のお師匠様———年<sup>ねんれい</sup>齢は私よりかなり上なんだけど、見た目は私よりも幼いっていう不思議<sup>ふ し ぎ</sup>な人———が写ったの

お師匠様はヘンテコだけど魔法の腕は確かで、昔は宮廷魔法使い  
だって聞いたわ

本気を出せば一人で都市を落とせちゃうような人

そんな人が衣服をぼろぼろにされて、全身を汗と白濁液でぐちゃぐ  
ちゃにしている姿で写ってた

初めは別人かと思ったけど、長年弟子だった私には一目でお師匠  
様だと分かったわ

それで私は一瞬で頭に血が登っちゃってね

お得意の霧魔法でその王子をズタズタにしてやろうと思ったの  
もちろん死なないくらいにね。でも、その瞬間気づいたの  
杖に力が入らない。魔力を込められない、って

驚く私に向かってその王子は言ったわ

「無駄だ。この空間はアーティファクトによって魔力が無効化されて  
いる」ってね

あの時のニヤついた顔、君にも見せたかったわ

本当殴りたくなるから

まあ私は体術<sup>たいじゆつ</sup>もいけるクチだからその場で反抗してもよかったんだ  
けど、まずは話を聞くことにしたわ

まだ相手の手の内も知らないからね

それでどんな用件かを王子に聞いたんだけど……彼はこんなことを  
言い出したの。俺と勝負しろって

意味不明よね？いきなり私を呼び出して、脅迫<sup>きょうはく</sup>まがいの写真を  
突きつけて、果てには勝負しろ、だなんて

でもまあ、その一言でだいたいの筋書き<sup>すじが</sup>は理解したわ

魔力の及ばない空間、提示<sup>ていじ</sup>されたお師匠様の写真、そして不在<sup>ふざい</sup>の  
王様と使用人

王子はあらかじめ王様に根回<sup>ねまわ</sup>しして、私と一対一の状況を作りたか  
ったんでしょうね

お師匠様の写真は、私にその勝負とやらを受けさせるための脅迫<sup>きょうはく</sup>  
材料

勝負を受けなければ、お師匠様がどうなっても知らないぞ、というね

無理矢理王子をねじ伏せてお師匠様の居場所<sup>いばしょ</sup>を聞<sup>き</sup>くって選<sup>せん</sup>択<sup>たく</sup>肢も  
あったんだけど、それはやめておいたわ

こういう輩は痛い目にあってもしつこく立ち上がってくる

やるなら徹底的に、確実に心を折る。そう思ったの

だから私は彼の提案する勝負とやらに乗ることにしたわ

その勝負で、真っ正面から王子の心を折る。<sup>さいきふのう</sup>再起不能になるくらい  
にね

そう心に決めて、私はその勝負の内容を聞いたわ

その内容は制限時間付きでお互いイかせあって、イッた回数が多い  
方の負け、というものよ

ね？気品の欠片もない低俗な勝負でしょ？

……あら、君のアソコはびくびく反応してるわね

君はこんな<sup>ていぞく</sup>低俗な勝負に興味があるのかしら？ん？

……興味あるみたいね。もうこんなに固くなってる

ほんとにもう、仕方のない弟子ね

ほら、シゴきながら話を続けるわよ

そこから聞いた話はだいたい予想通りのものだった

お師匠様を預かっている、返してほしければ勝負を受けろ、とのこと  
だったわ

内心安い<sup>えんげき</sup>演劇でも見てる気分だったけど、どうやら王子は本気みたい  
でね

その写真も偽物じゃないみたいだし、私は勝負を受けることを許諾したわ

そして私が連れていかれたのは王子の寝室

何人も転がれるような、カーテン付きの大きなベッドが一つあって

ね？その周りには趣味の悪い玩具<sup>おもちゃ</sup>がたくさん落ちてたわ

噂通り色んな女性に手を出してるみたいね

特には気にならなかったけど、はっきり言って不快だったわ

王子の汚い人間性を見せつけられてるみたいでね

ベッドに座るよう促された私は、杖を置いてベッドの隅に座ったわす

ると王子が隣に座ってきて、こう言うの

「その豊満<sup>ほうまん</sup>な胸で俺をイカせてみせろ」って

正直<sup>けんおかん</sup>嫌悪感しかなかったけど、ちょっとした嗜虐<sup>しぎやくてき</sup>的な考えも浮かんでできたわ

ここで王子が泣き出すくらい搾<sup>しば</sup>りにとって、尿道<sup>にょうどう</sup>に残ったのも全部吐き

出させて、そのふざけた態度<sup>あらた</sup>を改めさせようっていうね

プライドがぼろぼろになるまで追い詰めて、イき果てる王子を見なが

ら私は言うの

「まだまだお子ちゃまね」って。ゾクゾクするでしょ？

私はその考えを実現するため、唾液<sup>だえき</sup>を胸に垂らして王子のをシゴいてやったわ

勝負を仕掛けてきた割<sup>わり</sup>には王子のアソコも大したことなくてね  
私の胸にスッポリおさまって、胸を上下させる度にびくびくしてたわ  
君のとおんなじ、敏感<sup>びんかん</sup>な弱〜いおチンポ  
すぐひくついて、情けない声を漏らすの  
ヤバイ、とか。イきそう、とか。やめて、とか  
ほんと情けなかったわ

すぐに我慢汁<sup>がまんじゅ</sup>が溢れてきて、射精<sup>しゃせい</sup>をこらえるのに精一杯  
そんな様子を眺めるのも楽しかったんだけど、これはいった回数の  
勝負

私は乳圧<sup>にゅうあつ</sup>を一気に強めて、トドメをさしてあげたの  
そしたら王子、情けない顔と声で「い、イク！ やめて、やめて！」とか  
言いながら無様に射精しちゃったの  
ほんとと、無様だったわあ

でも私はそこで手を止めるほど優しくなかった

今度は果てた王子のアソコを握って、絶妙な力加減でこすってあげたの

そしたらもう射精が止まらないのなんのって

腰を浮かせながら、何回も情けない声で啼いてたわ

「も、もう出ないから、やめてえ」とか。「許して、もう許して」とか

でも仕方ないわよね？だって私を敵に回したんだもの

制限時間いっぱい————だいたい一時間ね

その時間内ずっとイカせっぱなしだったわ

時間が来る頃には王子はイき果てて、私の番が回ってくることはなかった

そうしたらいつの間にか魔力の無効化も解除されてて、私はそのまま王城を出たの

その時にはもう日を跨いでたから、君を起こしちゃいけないと思って

やどや宿屋に泊まってきたの。そしてさっき帰ってきた

これがあった出来事の一連の流れよ

どう？興奮した？って……もう射精してるじゃない

出す時は報告しなさいって言ったわよね？

はあ……全く。相変わらず仕方のない弟子ね

ま、私が魅力的<sup>みりよくてき</sup>過ぎるのが悪いんだろうけど……ね♡

（右耳に息を吹き掛ける）

ふうー……アハ、凄いビクッてした。本当、女の子みたいね

……そういう君も可愛いけど、早いとこ成長して私を守れるくらいに  
なってね

期待してるわよ……ちゅ♡……フフ

## 1. 5話 王子とイかせ合い対決

ちょ、ちょっとあなた！いつまで手マンして……！

あなたの番はもう終わりよ……！

手を、手を離しなさ……い！？

あ、ちょ、そこ、そこダメ！触らないで！触らない……んああ！！

指が、指が中をゴリゴリって……！抜き、なさい！

指、抜きなさいって……！

そ、そう！アソコ以外ならどこでも触っていいから、アソコは……うあ

ああ！？

だ、だからダメだって！指入れちゃ、あううう！？

<sup>こす</sup>擦らない、で！<sup>こす</sup>擦らないでえええ！イぐ！イぐからあ！

さっきから何回も手マンされて、イぎやすくなってるの！

だ、だからやめ、おおああ！？な、なんか当たってる！

ヤバイとこ当たって、ぐううう！？ああああああ！？

イッで、イッでるううう！

こんなクソ王子に手マンされて、イっ……うううああああ！！？

乳首、乳首<sup>っ</sup>摘まむなあああ！

嫌らしい手つきで、コリコリってええ！

や、やめて！やめなさ、はああああん！？

い、イッたあ！またイッたからああ！

も、もう手止めて！止めなさいってええええ！

ひあああああ！！？またイぐうううう！

し、<sup>しお</sup>潮、<sup>しお</sup>潮吹いちゃうってばああ！

な、なんか、スゴいのきて……！？んおあああああああつ！！？

んひいつ、んひああああ！と、とまんないいい！

<sup>しお</sup>潮とまんないってえええ！！

手、離しなさいよおおお！もう十分イカせたでしょ！？

満足しなさいよおおお！

……え？じ、じゃあ負けを認めるかって？

……そ、それとこれとは、話が別で

んあああああつ！！？み、認めるからああ！

認めるから手マンやめなさいってばあああ！

ほ、ほんとにもう限界なの！し、潮吹き過ぎてもうきついのお！

だから、もう、やめ……え？

勝負に負けた罰として、今夜一晩ずっとイカせる？

え？じ、冗談、よね？

だって、私、もう十分過ぎるくらいイッたし、水分だって……え？なに？

この水を生成するアーティファクトを使えば関係ない……？

いや、そ、そんなこと言われても、私もう限界で……いや、いやよも、もう許して。許し……

うゝあああああああつっ！！？おおっ！？

おつ、あひつ、おあああああつ！

んひ、ひぐうううっ！おああつ！

おつ、ああああつ、おあああつ、んああああつ！！？

おおおおおあああ！！ああんっ！おおっ！あひいつ！？

ゆ、ゆるし、ひああああああ！

お、お師匠様ああああ！

私、こ、このままじゃ、潮吹くだけの女になっちゃ、んひあああああああ  
あああつっ！！？

し、潮、とまんないのおお……

## 2 話 少しでも様子が変な師匠

おはよう。相変わらず、君は朝早いわね

いや、私がお寝坊さん<sup>ねぼう</sup>なだけかしら？フフ

それにしても、ずいぶんと香ばしい匂いがするわね

もしかして今日の朝ごはんは、スクランブルエッグかしら

どうやら当たりみたいね

君の作るスクランブルエッグ、独特な匂いがするからすぐに分かる

のよね

もちろん良い意味でね？早く食べたいから、ささっと顔洗ってくるわ

ね

……なに？今何か言おうとした？

なんでもないって……逆に気になるわね

そんな思わせぶりな台詞<sup>せりふ</sup>と表情残しといて、なんでもないことはない  
でしょう

ほら、早く言っちゃいなさい。私と君の仲じゃない

……ふんふん、なにになに？ここ最近元気なさそうだったから、今日  
は元気そうで安心した？

あー……そ、そうだったかしら

ここ最近の私、元気なさそうに見えた？

そ、そう。ごめんね？なんか心配かけちゃったみたいで

何かあったの……って、いや、別に何かあったわけじゃないのよ

全然大したことじゃないんだけど、ね

その……あの王子がしつこくって、ちょっと参っちゃってるのよ

ほら、少し前に話したでしょ？

私を城に呼び出して、勝負を受けろって脅迫<sup>きょうはく</sup>してきたクソ王子

その王子がね？勝負に負けたのがよほど悔<sup>くや</sup>しかったのか、街中<sup>まちなか</sup>で  
会う度に何度も話しかけてくるのよ

勝負しろ、今度こそ自分が勝つって

もちろん無視したわよ？

でもその度に何度もしつこく食い下がってくるのよ

私が街中を歩いている時も、依頼を受けてる時も、新人の子に魔法  
を教えている時も

負けるのが怖いんだろ？

俺にイカされ過ぎてメスに堕ちるのが怖いんだろ？って

ほんっと、どの口が言うのって話よね

勝負に負けてイカされまくったのは自分なのに

王族らしく、口だけはよく回るみたい

そんな人間にずっと絡まれるのよ？

いくら私が元気でも、流石に<sup>ひろ</sup>疲労もたまるわよ

君の前ではいい格好したいから平気をよそおってたけど……ちょっと限界だったみたい

ごめんね？頼れる師匠がこんな情けないところ見せちゃって

……ん？そんなことない？なんなら、もっと弱いところもさらけ出してほしい？

……なーに？いきなり真面目な顔しちゃって

大丈夫よ、私はこの都市でも指折りの魔法使い。こんなことじゃ、大したダメージにはならな……え！？

ちょ、い、いきなりどうしたの！？抱きついたりして！

(頬を赤らめる)

君<sup>ふだん</sup>普段はもっと消極的<sup>しょうきよくてき</sup>じゃ……え？

あ……も、もしかして、心配してくれてる、の？

わ、私が<sup>ふだん</sup>普段、全然<sup>よわみ</sup>弱味を見せないから……？

そ、そう。そう、なのね

私が全然<sup>よわみ</sup>弱味を見せないから、何か無理してるんじゃないかって、  
そう……思ってたのね

わ、私、君がそんなこと思ってくれてたなんて、全然……知らなかった

ごめん、ね？知らない内に、色々心配かけちゃってたみたいね

今度からは、その……君にもっと、相談するようにするから

私、君のこと昔みたいに子供みたいに見ちゃってたけど……いつの間にか、大きくなってたのね

すぐ近くに頼れる人がいたのに、何でも私がやらなきゃって、変な  
意<sup>い</sup>地<sup>じ</sup>張ってたみたい

うん……うん……ありがとう

こんなに私のことを心配してくれる人がいたのに、それに気づかないなんて、師匠失格ね

君が私のことをこんなにも心配してくれてるっていうだけで、なんだか、凄く勇気づけられたわ

本当に……本当に、ありがとう

それだけで私、今日も頑張れるわ

今日も、その、夕方から、王子のところに行かないといけないの

楽勝だとは思うけど、あの王子のしつこさには参<sup>まい</sup>ってたから、なるべく早くこの勝負を終わらせたいところね

師匠<sup>いばしよ</sup>の居場所と無事を確認するまでは、この勝負を避<sup>さ</sup>けることはできないし……本当に嫌だし面倒だけど、行くしか選択肢はないみたい

……フフ、そんなに辛そうな顔しないで

私は勝負<sup>じたい</sup>自体には圧勝してるわけだし、このまま勝ち続ければ何の問題もないわ

前の時と同じように、王子の心を折<sup>お</sup>って折<sup>お</sup>って折<sup>お</sup>り続ける

結局それしかあの性悪王子を黙らせる術はないのよ

王族っていうのはプライドだけはあるみたいだから、ね

はい、辛気<sup>しんき</sup>くさい話はもう終わりよ！せっかく君が作ってくれたご飯が冷めちゃうわ！

食べましょう食べましょう！

君に心配をかけたお詫<sup>わ</sup>びに、今日は私がアーンして食べさせてあげる♡

それも私の膝の上で、ね……フフ

ただいまー。んー、つかれたー……って、きゃあ！

そ、そんな凄い<sup>いきお</sup>勢いでお出迎えしなくてもいいわよ！

びっくりするじゃない！

怪<sup>け</sup>我<sup>が</sup>もないし、身体の異常もないわよ

だからそんなに私の身体、じろじろ見ないでくれるかしら

……全く。君は私の親じゃないんだから、そんなに過<sup>か</sup>保<sup>ほ</sup>護<sup>ご</sup>にしてくれなくてもいいのよ

君に心配されるっていうのは、悪くない気分だけどね

でも心配は無用よ。今回もちゃんと圧勝してきたから

……フフ、分かりやすく安心したって顔ね

というか君は師匠を何だと思っているのかしら

あの日君を救った偉大な魔法使いよ？

ちょっと弱音を吐いたからって、か弱い女になったわけじゃないわ

ほら、前みたいに何があったか教えてあげるから、寝<sup>しん</sup>室<sup>しつ</sup>にいらっし  
ゃい

心配させた分、今日はた〜っぷり甘やかしてあげる♡

さて、始めましょうか……って君、なんでもうそんなにカチカチにして  
るのよ

まだ私何もしてないわよ？

あ、もしかしてだけど……愛するお師匠様が悪い男に手を出される  
ところを想像して、興奮してたり？

なーんてね、冗談よ。君がそんな変態さんなわけないものね……

て、どうして<sup>むごん</sup>無言なの？

もしかして……<sup>ずぼし</sup>凶星、だったりする？

ふーん……そっかあ。へーえ、そうなんだあ

あれだけ私のこと心配とか言いながら、そういうので興奮しちゃうん  
だあ

……ふんふん、なにになに？

私が誰かに触られるのは本当に嫌だけど、なぜか身体が反応す  
る？

うっわあ……まごうことなき変態さんみたいね、君

フフ、別に謝らなくていいわよ

男の子の中にはそういうので興奮する子もいるって、知ってるから

お姉さんの<sup>けいけん</sup>経験と<sup>ちしき</sup>知識、舐めない方がいいわよ？

フフ、それじゃあ気を取り直して、何があったのかお話ししましょうか

とはいっても、流れ自体は前回と同じよ

ゆうがた  
夕方ごろに城に向かって、そこから王子との勝負

その勝負内容が違うだけの話よ

どんな勝負をしたのかって？まあそう焦らないで

ちゃーんと教えてあげるから

今回の勝負はね……絶頂ストック対決よ

フフ、なんだか<sup>すご</sup> <sup>ば</sup> <sup>か</sup> 凄く馬鹿っぽいでしょ？

私も最初そう思ったの

でも、あの王子は当然のようにその勝負を提案してきたわ

勝負の内容も前回とほとんど同じで、一定時間お互いにイカせあつ

て、いった回数の多い方が負け

ただ今回は<sup>そういてん</sup>相違点が一つあるわ

それは絶頂による快樂がストックされる、というところよ

……よく分からないって顔ね。まあ私も説明を受けた時はそうだっ

たわ

ただそれを一度経験するとよく分かるわ

その快樂のストックとやらを実現させる為に王子が用意していたの  
が、見たことのないアーティファクトよ  
どうやら王族っていうのは世間に公表してないアーティファクトをいく  
つも所有しているみたいね  
それでその道具なんだけど、本来は魔力をストックして、誰にでも使  
える魔力の供給源きょうきゅうげんを作る為のものらしいの  
でもあの王子はそれを応用して、絶頂による快樂をストックさせる用  
途を思いついたらしいの  
そのアーティファクトで身体かんそくの状況を観測し、その情報じょうほうからいった回  
数けいそくを計測  
その回数が多い方の負けよ

勝った方はストックされた快樂を受けることなく、負けた方は……ス  
トックされた分の快樂を、一気に受けることになる  
脳に、身体ちよくせつに、直接ね  
……フフ、君の呼吸、一気に荒くなってきたわね  
興奮してるのが丸わかり  
ほんっと、どうしようもない子なんだから……♡  
君は私が負けて一気に快樂をブチ込まれる姿を想像したんだろう  
けど、残念ながらそうはならなかったわ

あん じょう あっしょう  
案の定、私の圧勝

確かあの王子のいった回数が15回、とかだったかしら？

腰が跳ね続けるまで搾ってあげたもの

快楽がストックされるものだから、精子を吐き出すことなく、ただ

えんえん しぼ  
延々と搾られ続けるだけ

王子が負けて快楽が解放される瞬間なんて、ほんと無様っていう言葉  
を体現したみたいだったわよ？

馬鹿みたいに精子を撒き散らして、獣みたいに叫んで、身体を何  
回も跳ねさせながらイき続ける

あの光景を思い出すだけでも笑いが込み上げてくるわ

ああ、人って理性を捨てたらこうなるのねって感じだったわ

もしかして君も……そういう風になってみたい、とか言わないわよね？

……うっわあ。アソコがもうはち切れそうじゃない

なに？もし自分がその状況だったら、とか考えちゃったの？

ほんと、変態さんね

こんな変態さんになっちゃったのは、一体誰の影響かしら？

育ての親の顔、見てみたいものね

……え？なあに？僕をこういう風にしたのは私だって？

そんなわけないじゃない

私は<sup>まじめ</sup>真面目に、<sup>あいじょう</sup>愛情た～っぷり注いで君を育ててきただけよ？

ま、愛情を注ぎ過ぎてこんなことし始めたのは私だけどね

……それが原因？はあ……<sup>せきにんてんか</sup>責任転嫁は良くないわよ

きっかけを作ったのは私だけど、今みたいな変態さんになったのは

君の<sup>せきにん</sup>責任よ

自分の罪をなすりつけるような悪い子には……それ、ぎゅうううう

っと強く握って握って……ぱっ、とね

あらあら。こんなに精子を吹き出して……男の子なのに<sup>しお</sup>潮吹いてる

みたいね、フフ

もう、私の部屋を汚してくれちゃって……いけない子ね、君は

やっぱり君は……私がいないと、<sup>だめ</sup>駄目なんだから

## 2. 5話 王子と絶頂ストック対決

……つぶはあ！ほんっとクさいわね、あなたのアソコ

いくら勝負とはいえ、鼻がもげそうになるわ

血管<sup>けっかん</sup>が浮き出てて、今にもはち切れそうなくらい膨張<sup>ぼうちょう</sup>してる……私の弟子のと違って、何の可愛げもないわね

汚れてるし、何より臭い……こんなのが王族だなんて、嫌気<sup>いやけ</sup>が差してくるわね

……なに？昨日あれだけイカされたくせに、随分<sup>ずいぶん</sup>と威勢<sup>いせい</sup>がいい？

当たり前じゃない。昨日のは何かの間違いよ

よく考えたら前日にポーションの試飲をしていて、身体<sup>からだ</sup>の感覚が

鋭敏<sup>えいびん</sup>になった状態だったもの

そんな状態でイカされたところで、ただの事故だとしか感じなかったわ

昨日のようにいくとは思わないでほしいものね

むしろ……今日はあなたが泣き叫ぶ番よ。あなたのモノなんて触り

たくないけど、勝負<sup>めいもくじょう</sup>という名目上、全力でしごかせてもらおうわ

こんなくっさくて汚らしいモノを咥えるなんて、ホント屈辱的<sup>くつじよくてき</sup>だけど  
……んぶっ

(睨みながら咥える)

んぶじゅっ、んぶっ、じゅるっ、じゅじゅるうっ、んふ、んぶじゅ、ずず、  
じゅぶぶ、じゅるるるる！

じゅるっ、じゅぞぞっ！ぶぼっ！んぶっ、んんう、んじゅうう、んは  
っ、じゅぼっ、じゅそぞぞっ、んふっ、んうづっ！

ふう、ふっ、じゅるるるっ！グボボっ、んぶっ……じゅぞぞぞぞっ！ん  
ふうっ、んぶ、じゅぼぼぼぼっ！じゅぶっ！じゅぼっ！じゅぼっ！…  
…ふうう

……今、絶対イったわよね？

分かりやすくびくびくってして跳ね上がったもの

ガマン汁でだらっだらだし、これでイってないっていうのは無理があ  
るわよね？

ま、アーティファクトのおかげで射精はしないみたいだけど……

それが吉<sup>きち</sup>と出るか、凶<sup>きょう</sup>と出るか見物<sup>みもの</sup>ね

(目元、口角を吊り上げて悪い笑みを見せる)

それじゃあ、続けるわよ

んぶじゅっ、じゅるっ、じゅぞぞぞっ！んうう、ぶじゅっ、じゅるるる  
っ！んぶっ、んづう……！

ふう……フフ、すっごく良かったみたいね

全身びくびく震<sup>ふる</sup>わせて、情<sup>なさ</sup>けない声あげて、ずーっとアソコひくつか  
せて

もうしなびちゃってるじゃない

さっきまでの余裕は何だったのかしら

え、なあに？正直ナメてた？

前回あんなにイってたから、フェラで勝手に感じると思ってたって？

はあ……これだから調子乗ってる子って嫌なのよね

すぐに相手を下に見て、相手が思い通りに動くと思ってる

そのくせ、負けたらそれを認めずに何回も噛みついてくる

プライドが高いというか何というか……救いがたいわよね、あなた  
みたいな人って

……ん？それはお前も同じだろって？

高名な魔法使いだろうが何だろうが、ベッドの上では一匹のメスだっ  
てことを教えてやるって？

……フフ、フフフ、何それ、中々に面白い冗談ね

私のフェラで何度も何度もイった人間の台詞とは思えないわね

一周回って滑稽にすら見えるわ、あなたの今の姿

だいいち、そのしなびたアソコで何をするつもりなのかしら……！？

(驚いた様子)

え……なんでそんなに勃起して……？

さっきまで情けない姿でしておれてたじゃない……！

私のフェラで骨抜きにされて……え？

しほ  
搾り取られたのは事実だし、興奮して何度もイきかけたのも、事  
実？

数回はイったけどそれがどうした……って、いや、それは変でしょー

度イったならその後はしばらくの間は勃たないはず、でしょ？男の

予って普通はそういうもので……て、な、なんでこんなにガチガチに  
なって……

俺を普通の男と一緒にするなって、ど、どうしたことよ

た、確かに身体はできてるけど、あなたなんて魔法も使えない、た  
だの地位だけ持ってる男でしょ。それだけの、はず

……気に入った魔法使いを堕<sup>お</sup>とすために、色々と工夫をした？  
なにそれ、意味が分からないわ

そもそもあなたみたいなのが、お師匠様<sup>と</sup>を捕らえたことも意味不明  
よ。あの人は見た目とは相反<sup>あいはん</sup>して、莫大<sup>ばくだい</sup>な魔力を持つ人  
あの人が負けること自体あり得ないのよ

なのにあなたは……って、なによ、それ

なんで、そんなに膨<sup>ふく</sup>れあがってるのよ

そんな大きさ、見たことな……え？私の魔力を、奪<sup>うば</sup>った？

な、何を言ってるの

そんなこと、お師匠様にもできないことよ

なのにどうしてあなたにそんな芸当<sup>こくいん</sup>が……の、呪いの刻印？

いっさい  
一切の魔力を生み出せない代わりに、人から魔力を強制的<sup>きょうせいてき</sup>に奪<sup>うば</sup>う  
……？

傲慢<sup>ごうまん</sup>な魔法使いの女達を墮<sup>お</sup>とすためだけに、わざわざその呪いを  
受けた……って、そんなのありえないわ！

そんな刻印<sup>こくいん</sup>、聞いたことも……あ

そういえば、あの子が、言ってた

刻印<sup>こくいん</sup>にも種類があって、中には誰にも知られてない、呪いと呼ばれ  
るような刻印があるって

奴隷<sup>どれい</sup>の中には、生きてるだけで魔力を奪う人もいたって

で、でもその刻印を受けるには、条件があるとも言っていたわ

確か人から大切なものを奪い続け、罪人<sup>ざいにん</sup>として罪<sup>せ</sup>を背負<sup>お</sup>う必要があ  
るって

でもあなたがそんな刻印を持っているのなら、王族<sup>ついはう</sup>を追放されてい  
るはずでしょう？

刻印を受けた人間は、血筋<sup>ちすじ</sup>関係なく忌<sup>い</sup>み嫌<sup>きら</sup>われる

あの子がそれで苦労してきたみたいに……え？

……だったらその罪を、奴隷達になすりつけられればいい？

奴隷の子達を連れて行って、魔力を奪った責任をその子達に押しつ  
ける？

そうすれば刻印のことはバレないって……あなた、自分が何を言っ  
ているか分かっているの？

王族どころか、人間として最低のことをやっているのよ？

……っ！あなたもしかして、そうやって連れてきた<sup>どれい</sup>奴隷の子をダシにしてお師匠様を……！？（王子の行ったことに気づき、驚く）

……………そう。クズだクズだとは思っていたけど、あなた本当に救いようのない人間みたいね

決めたわ。私はあなたを消す

あの子の師匠である以上、そんなことをするつもりはなかったけどでもあなたが<sup>そんざい</sup>存在し続ければ、お師匠様も、あの子も、たくさんの奴隷の子達も苦しみ続ける

そんなのは見過ごせないわね

（いとおしそうに、一人ごちる）

……前はもっと<sup>れいこく</sup>冷酷な人間だったはずだけど、あの子に感化されちゃったかしらね（小声で話す）

（決意を決め、冷淡な声色になる）

今はアーティファクトの影響<sup>えいきょう</sup>で魔法は使えないけど、肉体は自由に動く

魔法でしか戦えない魔法使いは二流って、私はお師匠様<sup>おそ</sup>にそう教わってるのよ

ここであなたを消して、お師匠様を解放する

勝負を投げ出せばお師匠様やあの子に危害<sup>きが い およ</sup>が及ぶと思って受けてきたけど、もうその必要はないわ

あなたを消す覚悟<sup>かくご</sup>が、これまでの私には足りなかつただけ  
その舐め<sup>な</sup>きつた態度も、これまで——んぢゅっ！！？

(一気に距離をつめられ、いきなりキスをされる)

な……！？や、やめなさい！けがらわしい！

顔近づけないで……んぢゅううっ！？

ぢゅ、ぢゅるるうう！や、やめなさ……！

舌で、口、強引<sup>ごういん</sup>にこじあけ……ぶぢゅうう！？

んう、んづづううっ！ぶじゅっ！じゅるるるうう！

んぶっ、んじゅうう！んじゅっ！はあ、はっ……！

な、なんなのよいきなり……！

し、勝負の続き？今度はこっちの番って……ぢゅうううっ！？

れろ、れろお……だ、だから、舌いれるな……んぶうううう！

じゅぞっ、ぢゅうううっ！じゅぶぶっ、んぶうっ、じゅるるるっ！か、

身体、ガッチリ掴<sup>つか</sup>まれて、動けな……ひあっっ！？

あ、アソコ、<sup>ひざ</sup>膝で、お、押すなあっ！押す、な……あああああああっ！

ひ、膝で何回も、ぐりぐりいって、んひ、んひあああああっ！？

んぐ、んおあああああっ！ま、まず、い……い、い、ぐうう……んじゅ

う！？

キス、やめ……じゅるっ、じゅぞぞぞぞおっ！？

ぢゅうううっ！んぶうううう！んぶっ、んじゅっ、れろ、えろお、

じゅぞっ、んじゅうううううっ！！？

はあ一つ、はあ一……はあ、はあ。な、なんなのよ、あなた

と、というか、さっきのスピード、<sup>ふつう</sup>普通、じゃない……な、何をした、の  
よ

う、奪った魔力を使っただけ……？

<sup>せつしよく</sup>接触すればするほど、魔力を奪える……？

そ、そんなの聞いてな……きゃあっ！

な、なによ、いきなりベッドに押し倒して！

いい加減にしないとあなたの命を……え？

今から、挿入する？挿入するって、な、何を？

分かってるだろって……だ、駄<sup>だ</sup>目<sup>め</sup>よ

い、今あなたの番は終わったじゃない

なのに続けるなんて、ルール違<sup>いはん</sup>反よ

……私が30分以上してたのに、そっちはまだ10分もしてない？

そ、そんなわけないじゃない

そんなわけが………んおっつ！！？

あ……う、い、あ……！おお……あ…！んぎ……んう……！い、うあ  
……！

い、いぎな、りい……！そん、な、太いの、おっつ！！？

あ、んお……！あ、あそこ、が、あ、<sup>あっぱく</sup>圧迫されて……！

んぎいっ！？う、うちつけるの、やめ……おあああっつ！？

ご、ゴムしてる、のに、ひ、一突きで、イ、ぎゅううううっ！？

あ……は……、や、やめなさ、い……

こ、こんなの続けられたら、私……おっつ！

あっつ！ああっつ！んあああああああっつ！！？

ぴ、ピストンやめなさ、いいいいいいいっ！？

んぎっ！あうっ！おっつ！おっつ！？ひぎっ！？

ひ、ひおっ！おあああああああっ！？

や、やめなさいよおおおおおっつ！？

うあああああっつ！？あっ！ああっ！？あああっ！？

……お……あ……！う、んづ、んうう……！か……は……！お……

ああっ……！

い……伊っで、な、い……！

わ、私、全然、伊っでない、か、らあ……！

こん、なので、イクわけない、し

あ、あの子の方が、絶対、いい、し

……は、はあ？じゃあ伊った回数を確認してみるか、って……？

ご、ご自由にどうぞ。どうせあなたの方が多いに決まってる、でしょう？

わ、私は全然、伊ってない、わけだし。ほら、早く見せてみなさ……

あ？

あなたが3回で、私が15回……？

そ、そんなわけじゃない。逆になってるのよ、き、きっとそうに決まって……はあんっ！？

え……？な、なによ、今の

からだ でんりゅう  
身体に電流みたいなのが、びりって

……ストックされた分の快樂が、勝負に負けた私に流れ始めた？

い、いや、だから、そのカウントは変で……あなたがな、何か、細工したんでしょう！

……アーティファクトの細かい設定は変えられても、その大元のおおもとの

きのう  
機能は変えられない？

ストックする対象は変えられても、カウントの機能と、ストックの機能は変わらないって……じゃあ、なによ

私はあなたみたいなクズに、15回もイカされたっていうの……！？

そ、そんなの認められるわけ……んひっ！？

な、なによこれ

身体が、勝手にびくびくって……！

快樂が、私の身体全体に流れ始めてる……？

ふ、ふざけないで！こんな勝負、認められるわけ……ひあっ！？う、

うそ……何もされてないのに、こ、腰があがって……！？

か、カウントダウン？快樂が解放されるまで、あと5秒？

ちょ、ちょっと待ちなさい！む、無効よ、こんな勝負！

私があなみたいなクズに負けるわけが……あっ！？

ま、待って、やめなさい！やめ———ああつつつ！！？

(カウントが0になり、一気に快樂が流れ込んでくる)

んう〜〜〜〜〜っ！！？おおっ！？？ああんっっ！？

ひっ、ひぐ、おおお……！？お、ああ……っ！！あ、ひ……！

い、イかな、いいい……！こん、なので、い、伊って、たまるもの、で  
すかあ……！

んうううう……！待ってて、ねえ……！

君のところに、帰る、からあ……あ？

ち、ちよつとあな、た……そこ、クリトリ、ス

や、やめ、やめなさ、い

か、皮むいて、<sup>ちよくせつ</sup>直接さわるとか、そ、そんなの絶対ために決まって…  
…！

おあああああああああああっっっ！！？

だ、だめっ！やめっ……んぐおおおあああああああっっ！！？

や、やばいっ！これ、イクの止まらな……おおおおおおあっ  
っ！！？

い、いぐ、いぐ、いぐううううんっ！！いっぐ、いっぐうう……！

い、いっでる！いっでるうううっ！

とめ、とめなさいよおおおおっ！！

んおおおおおつつ！！？

あつ！？ああつ！？あんつ！あつはあつ！

じぬ、しんじゃ、あううううつつ！！？

これえ、<sup>しお</sup>潮、でちゃ、あああああああだめええええええつ！

うあああああああつつ！！？だめつ！だつ……めえ……！

と、とまって！イクのとまつ……やああああああああんつ！？

潮、あふれてとまらないiiiiiiii！！

もうイクのやあああああああつ！？

(あまりの快樂に強く深イきし、呼吸が中々できない)

お……あ……つ！あ……………い、ぐ……う……！

か……………はつ……！おお……………あ……！

や、ば……………！まつ……………、ああ……お……………！

いぐ……いぐう……………あつ……！

(ついには失禁してしまい、膝から力が抜ける)

はあ一つ、はあ一つ、は……あ……！

はっ、はっ……あ、んっ……う、んううう……！あっ………！お…

…お………！あ……おお……！

……わ、たし、は……まけ、な、いい………！

### 3 話 決意の朝

……おはよう。今日の朝ご飯は、いったい何かしら？

君お得意のスクランブルエッグかしら？それともサンドイッチ？あ、ソテーとかの可能性もあるわね

ま、どうせ君のことだから、どんな料理でも美味しく作るんでしょうけど

フフ、食べるのが待ち遠しい……え！？

な、なに？どうしたの？急に私の手を抑えこんだりして……

ま、まだ朝よ？もしかして、私の魅惑的なスタイルを見て、興奮しちゃったの？

ご、強引なのは嫌いじゃないけど、君にはあまり似合わないと思うわ……って、ち、違う？

違うって、何が……私が魅惑的なスタイルをしているのは知ってる

けど、別に襲って<sup>おそ</sup>るわけじゃない？むしろ、守りたい……？

ど、どうしたのよ。君の言ってること、全然分からないわよ

君らしくないじゃな……え？らしくないのは、そっちの方？

そんな元気のない顔を見たのは、初めてって……そ、そんなわけないじゃない！

私は、ほら、こんなに元気よ

君が<sup>しんばい</sup>心配することなんて、何一つないわ

だから、ほら、食べましょ……きゃっ！？

ちょ、ちょっと、そ、そんなに強く抱きしめられたら、痛いわよ

本当にどうしちゃったの？いつもは君、もっと落ち着いてるじゃない

ほら、私は大丈夫だから……

(大丈夫じゃない！と主人公に強く言われる)

な、何よ。そんなに怒らなくてもいいじゃない

だいたい、君に私の何が分かるって言うのよ

確かに、君に<sup>たよ</sup>頼ることがあるかもとは言ったけど、それは今じゃない

むしろ君が<sup>かんよ</sup>関与することで、悪い方向に<sup>ころ</sup>転ぶ<sup>かのうせい</sup>可能性もある

どういうことって……それは……

……ごめんなさい、今は、言えないわ

それと……君の心配を拭えるかは分からないけれど、あの王子と

の勝負は、今回で最後みたいよ

本人がそう言っていたし、魔力を遮断<sup>しゃだん</sup>するアーティファクトも、そう何  
回も使える代物<sup>しろもの</sup>でもないみたいだから……  
今回を乗りきれば、君が心配することも無くなるわ  
今回の勝負が終われば、今まで通りの生活に戻れるの  
だから……今は……今だけは……そっとしておいて  
……手紙、とってくるわね

(玄関で立ち止まり、指を噛んで快樂に耐える)

ふーっ……！ふーっ……！よかった……！なんとか、あの子には知ら  
れずに……んっ！すんだ、わ……！んうっ！

はあー、はあ……こんなとこ、あの子には見せたくない……！  
ごめん……ごめん、ね……君が……君が大切だからこそ、今回は  
相談できないの……！  
本当に、ごめんなさい……！でも……心の底から、愛してる、から  
……！  
だから………待ってて

### 3. 5話 王子と我慢対決

来てあげたわよ、クズで救いようのない王子様

ずいぶんな態度<sup>たいど</sup>だって……当たり前じゃない

これまでの自分の行いを忘れたのかしら

どれい<sup>どれい</sup>の子達に罪をなすりつけ、その子達を人質<sup>ひとじち</sup>にお師匠様に手を  
出し、果てには私の弟子<sup>きょうはく</sup>まで脅迫<sup>たいしやう</sup>の対象に……！

本当に人間として終わってるわ、あなた

今すぐ私の霧魔法ですたずたにしてあげたいもの

できもしないことを言うな……？

あら、私は本気よ？ 今回の勝負が終わり次第、命をかけてでもあなたを消すわ

あなたという存在は、この世界に不幸<sup>まふち</sup>を撒き散らすもの

悪い芽<sup>つ</sup>は私が摘んであげるの

あの子やお師匠様が幸せに暮らせるように、ね

それと、あなたが仕込んだこの悪趣味<sup>あくしゆみ</sup>な玩具<sup>おもちゃ</sup>、もう外してもいいかしら。うっとおしくて仕方がない……のっ！？

……ほんと、反吐<sup>へど</sup>が出るほど悪趣味<sup>あくしゆみ</sup>なのね、あなた

別に褒めてないわ。ただ侮蔑してるだ……けっ！？

ん……んう……！

……こんなことして、何が楽しいのかしら

ごうまん  
傲慢な女がよがっているのを見たい？ ああ、そう

そんなことどうでもいいから、早く今回の勝負の内容を教えてくださいな

いかしら

早く帰ってあの子を安心させたいの、私

あなたみたいなクズとはまるで違う……けなげ健気で優しい、私のたった  
一人の弟子を

だから早く今回の勝負を教えてくださいな

あなたにかまってる時間はないのよ

それで、何をするのかしら？ またイかせ合い？

それとも別のあくしゅみ悪趣味な何か？ なんでもいいから早く……え？

何もしない？

……どういう意味かしら。言葉遊びをしてるひまはないんだけど

俺は何もしないって……だったらどう勝負するっていうのよ

そんな勝負のしょうが……がまん我慢、勝負？

いまさら、なにを我慢しろっていうのよ

もしかして、この玩具<sup>おもちゃ</sup>でイかないように我慢しろってことかしら？この  
玩具<sup>おもちゃ</sup>以外のものも私に着けさせて、それでもイかなかったら私の勝  
ち、とか

あなたのその汚れた思考<sup>く</sup>を汲んで考えてみたのだけど、どうかしら  
大当たりだったりする？

……当たらずも、遠からず？

どうしたことよ。早く説明しなさい

ん……何よこれ。紙？

今回の勝負におけるルールだって……今までそんなの無かったじ

ゃない。どういう意図<sup>いと</sup>よ

まずは読め？はいはい、わかったわよ

えーと……基本的なルールは、玩具をつけてこの部屋で過ごすだ

け。窓や扉を開けることは禁止する

脱走<sup>だっそう</sup>の危険性<sup>きけんせい</sup>があるため、手はベッドに拘束<sup>こうそく</sup>する

そしてこの部屋で過ごす際には、とある映像を見てもらう

日を跨<sup>また</sup>ぐまでが勝負のリミット

日を跨<sup>また</sup>いだタイミングで王子が部屋を訪<sup>おとず</sup>れるので、その際<sup>さい</sup>ある言葉  
を口にしなければ勝利となる

ふーん……ここに書いてある、ある言葉っていうのはなんなのかし  
ら

……あなたが部屋を訪<sup>おとず</sup>れた時、「イかせてください」と言わなければ私の勝ち？

へえ、そう……中々面白いジョークを考えるのね、あなた  
私があるにそんなこと言うなんて、世界が滅びるくらいあり得ない  
ことよ

私がそんな台詞<sup>せりふ</sup>を口にするのと本気で思っているのかしら  
なんにせよそうなるのは時間の問題だって……その自信はいった  
いどこから湧いてくるのかしらね

まあ、いいわ

どうせこの勝負が終わったら、あなたと会うことはないんだから

てばや  
手早く終わらせて手早くあなたを消してあげる

それで……私はベッドの上にいればいいだけ？

特に何もしなくていいのよね

あ、でも部屋で過ごす際にはとある映像を見てもらって書いてあつ  
たわね

何の映像を見るのかしら

すぐにわかるって……………え？

ちょ、ちょっと、あなた、これ……………！？

(思わず赤面するメイア)

これを見ながら一晩過<sup>ひとばん</sup>ごして、あなたのアソコを欲しがらなければ  
私の勝ちって……………あなた、本当にどこまで悪<sup>あくしゅみ</sup>趣味なの……………！  
というか、こ、この映像どうしたのよ！

いつの間にこんなものを……………！

あ、アーティファクトでこっそり撮影してた？

あ、あなた、ふざけないで！ そんなこと一言も言ってなかったじゃな

い！ たまたま撮<sup>と</sup>れただけって……………そんなわけないわ！

むだ<sup>むだん</sup>断でこんなことするなんて、それこそル<sup>いはん</sup>ール違反よ！

こんな勝負、受けてられな……………きゃっ！？

こ、この……………強<sup>ごういん</sup>引に、手を……………！ く……………なんて、力……………うあっ！

くっ！ こ、この……………離しなさい！ こんなもの、認められないわ！ 今すぐ  
手を解放しなさい……………んうっ！？

くうっ！振動<sup>しんどう</sup>が、強くなって……！この、クソ王子……あああっ！？

振動が、アソコ全体に響いて……！んんっ！

ちょ、ちょっと！？どこに行くのよ！この映像を止めなさい！

そうしたら、あなたが出した条件を呑<sup>の</sup>んであげるから！

だから止め……………え？この映像を流すのは、絶対条件？

だ、だめよ！絶対<sup>ぜったい</sup>許<sup>ゆる</sup>さな……あああっ！

ちょっと！ま、待ちなさい！待ちなさ……………んうううっ！？え、映像止め……………！

(ゆっくりと呼吸するが、時おり荒い呼吸になる)

は……………はあ……………は、あ……………はっ……………は……………はあ、ああ……………

ふっ、ふうっ……………はあああ……………あっ、あ……………はあ……………

はっ、はっ……………んう……………はあ……………

ん……………あっ……………あ……………

(もうろうとした感じで話す)

あ、ら……やっと、戻ってきたの、ね……

ずいぶんと……<sup>おそ</sup>遅い、登場じゃない……

日を<sup>また</sup>跨いで、から……もう、1時間は経ってるわ、よ……

……なんで、時間がわかるのか、って？

フフ、魔法使いたるもの、体内の……魔力の<sup>じゅんかん</sup>循環で、たいていの、  
時間の<sup>めぼし</sup>目星はつく、のよ……

それで、時間に遅れたのは、どうしてかしら……？

忘れてたって……そんなわけ、ないでしょう

どうせあなたのことだから、<sup>じ</sup>焦らして、<sup>じ</sup>焦らして、墮としてやろうって  
……そんなしょうもないこと、考えてたんでしょ？

……フフ、<sup>ずぼし</sup>凶星、みたいね

どうせ、そんなことだろうと、思ったわ

ほんとにしょうもなくて、子供じみてて、救えない……けど

あなたのその<sup>さく</sup>策、ちょっとは効果があったみたい、よ……

ほら、私のアソコ、もう汁が溢れて止まらない<sup>じょうたい</sup>状態なの……もう、服  
にも、ベッドにも、染み込んでる

今すぐあなたを<sup>のし</sup>罵って、<sup>なぐ</sup>殴りかかりたいところだけど……正直、そ  
の余裕はないわ

身体ほての火照りも冷めないし、息も整えられない。ずっと軽イキして、  
上手く力も込められない……

ま、言葉通りお手上げてやつかしら、ね……

あら、ずいぶんと大きくしちゃって……今の私の姿を見て、興奮しち  
やったのかしら？

……この部屋ただよに漂ってる、強烈きょうれつなメスにおの匂いに反応した……？  
へえ、そう。まだ私はあなたのアソコを欲しがってなんていないけ  
ど、ね

……じゃあそのヒクつきはなんだって？

さあ……私の身体おもちゃが玩具に反応してるだけじゃないかしら  
これは自然的な反応でしょう？

別にあなたのモノを欲しがってるわけじゃない

でも、そんなに挿入そうにゆうしたいのなら……してもいいのよ？

お姉さんがあなたを甘やかしてあげるわ

……あら、不満そうな顔ね。何か気さわに障ったかしら

……挿いれてもいい、じゃなくて、イかせてくださいだろって？

そう言えば、楽にしてやる？

ふーん……なるほどね

君はどうしても私にそう言わせたいみたいね

はあ……しょうがないわね……

私もアソコがずっと疼<sup>うず</sup>いて、どうにもできない状況なわけだし、ね  
あなたの望み通りにしてあげるわ

ほら、こっちに来て

フフ……すっごい匂<sup>にお</sup>い

クサくて熱<sup>ねっ</sup>っぽくて……私を抱<sup>だ</sup>くことしか考えてない、いやらしい匂<sup>にお</sup>い  
ね

なんだかあなたのモノを見ているだけで、頭がボーッとしてくるわ  
だから……ほら……あなたの逞<sup>たくま</sup>しいものを、私のアソコに……

(一転、ニヤついて馬鹿にしたような態度になる)

なんて、そんなこと言うと思ったかしら？

いらないわよ、あなたのなんて

……アハ、何その顔。怒ってるのお？お姉さんに煽<sup>あお</sup>られて、怒っちゃ  
ったの？可愛いボクちゃんね

なに？私がこの程度の焦<sup>じ</sup>らしであなたに屈<sup>くっ</sup>すると思ったのかしら

あなたの想定では、今ごろ私はあなたのモノを求める淫乱<sup>いんらん</sup>な姿<sup>さら</sup>を晒  
していたのかしら？

フフ、本当に笑えるわね

あなたがそんな叶いもしない望<sup>いだ</sup>みを抱きながら今まで過ごしていた  
のかと思うと、本当に笑えてくるわ

……今ならまだ間に合うから、素直になれ？

はあ……まだ分からないのかしら

あなたのモノなんて、いらないって言ってるの

私が欲しいのはあの子のモノだけ

なんでも自分の思い通りになると思ったら大間違いよ、王子様

勝負の条件では、私があなたのモノを欲しがらなければ私の勝ち、  
だったわよね

あなたは腐っても王族なのだから、きちんと約束は守ってくれるのよ  
ね？

お師匠様の解放と、私の弟子に金輪際<sup>こんりんざい</sup>手出しをしないっていう約束  
は

<sup>ふしょうぶしょう</sup>  
(不承不承、王子がそれを認める)

……王族として、最低限の配慮<sup>はいりょ</sup>はあるみたいね。安心したわ

勝負に負けた今のあなたには酷<sup>こく</sup>でしょうけど、この拘束<sup>と</sup>を解いてくれないかしら？

何時間も拘束<sup>こうそく</sup>されて、手も痛くなってきてるの

……まあ、あなたも中々納得<sup>なかなか納得</sup>できないでしょうから、サービスでご

奉仕<sup>ほうし</sup>くらいはしてあげてもいいわ

それを最後に、私達が会うのは終わりよ

拘束を解いてくれるなら、あなたを消すことまではしないわ

だからほら、早く拘束を解いてくれない？

この状態<sup>じょうたい</sup>じゃ、ご奉仕もできないわ

……え？何？お前は何か勘違<sup>かんちが</sup>いをしている……？

どういう意味よ。約束を守らないつもり？

……約束は守る。お師匠様も解放するし、弟子にも手を出さない

じゃあ、なに？何を勘違<sup>かんちが</sup>いしてるっていうのよ

……これまでの勝負は、その二人を解放<sup>かいほう</sup>するための勝負？お前は  
まだ解放されていないって……なにそれ、意味が分からないわ

……今から行う勝負は、私を対<sup>たいしやう</sup>象としたもの？

勝負に勝てば解放、負ければ俺のものだ……って、ど、どうということ  
よ！

勝負は終わったはずよ！早くこの拘束を解きなさ……あっ！？

(アソコに入れられていた玩具を引っこ抜かれる)

オモチャが愛<sup>あいえき</sup>液でぐじゅぐじゅになってるって……そんなこと、どうでも  
いいわよ

さっきの言葉の意味を教えなさい

……勝負内容は朝まで生でやって、100回イかなければ私の勝ち？  
100回以上イったら私の負けって……ちょ、ちょっと！何を勝手に話を進めてるのよ！

私はそんなことを聞いているんじゃないくて、勝負はもう終わったって話を……！

(抵抗できないメシアに、王子がアソコを思い切り挿入する)

あつつ……………！！？

おつつ……………！お……………！あ……………っ！？

う…………あ…………！か…………はっ…………！

おお…………！い…………あ…………っ！？

なに、を、勝手に…………あんっつ！！？

ちよ、っと…………まちな…………おゝあぁっ！！？

っ、突<sup>つ</sup>くの、やめ…………うあっつ！！？

焦<sup>じ</sup>らされてた分が、一気に…………んあああああぁあっつ！！？

あっ！あうっ！

も、もれ、もれちゃ…………んひiiiiiiんっつ！！？

あゝあああゝっつ！！？きたないっ！きたないのにっ！？

も、もうおわりっ！勝負はもうおわっ、やあああああああぁあっ！！？

な、<sup>なま</sup>生！<sup>なま</sup>生はだめだってばあああ！

し、<sup>しきゅう</sup>子宮、ぶちゅって！ぶちゅって<sup>つぶ</sup>潰されてるのおおおおっ！？

そ、そこはあの子の場所！あの子の場所なのっ！

だからよごさないで！よごしちゃだめなのおおお！

こ、このお！このくそ王子い！あんたなんか、あんたなんかあああ…

…………んじゅっ！！？

(強引に口を塞がれる)

じゅっ、んじゅっ、じゅるっ、んぶっ、んぽおっ、ぢゅううううん…

…んぶっ！？

ぢゅっ、ぢゅぼっ、し、舌、吸われて……じゅぞぞぞおおおっ！

じゅっ、ぢゅるるっ、んじゅっ、じゅぞっ、ぢゅろろおおおっ、んぶっ、

じゅっ、ぢゅぞぞっ、んぶ、んふうううう、ぢゅぢゅっ、じゅるるるっ！

……んぶ、んぢゅ……………ぶ、はあっ！

……はあー、はっ、はあー……はっ、はっ、はあ……んっふ……い

き、できな、い……！

はあ——、はあ——……………え

いま、から……朝まで、休み抜きで、やる……？

うば 奪った魔力を、直接、<sup>しきゅう</sup>子宮に流し込みながら……？

な、なに言ってる、の。そ、そんなことしたら、おかしくなっちゃう、わ

……………は？子宮だけじゃなくて、私の<sup>じゃくてん</sup>弱点全部に、魔力を流し込

む……？か、快樂でぐずぐずに溶かして、一匹のめ、メスに<sup>お</sup>墮として

やるって……………

だ、だめ、そんなの絶対だめよ。ほんとに、ほんとにだめ

わ、私はあの子の師匠なの

私がいないと、きっとあの子は苦しむわ

ぜ、絶対無いとは思うけど、仮に、仮に私があなたなんかのものに

なったら、あの子はひどく悲しむことになる

私はそんなの絶対にいや……だから、だから、いま、ここであなたを  
消し……………あ？

(子宮まで貫かれ、一瞬何が起きたか分からなくなる

……………あゝ……………おゝ……………ああゝっ……………？うゝっ……………お  
……………やっ……………あゝ……………あ、はっ……………！んうゝ……………ひ……………  
…！うゝっ……………や、あゝ……………んおゝっ……………！ちょ、ちよつとまつ…  
……………これ、だめ……………！

おゝおゝおゝおゝおゝおゝんっ！！？だ、だからまつ、これ……………  
んおゝっ！？

おゝっ、おゝおゝおんっ、あゝっ、あゝあゝあゝあんっ、ううゝっ、おっ、おっ  
ほ、あゝあんっ、ぐっ、おゝほおおお、んふっ、んおおおん……………！  
ぎ、ぎもちよぐないっ！こんなのお、ぜんっぜん、きもちよくなんか、  
おゝっほおお……………！

いつでない……………！いつでないって、ばっっ！！？

ちくびい、ちくび、いじめるな……んおおおっ！

こり、こりって弄<sup>いじ</sup>られて、おっ、おほおおっ、や、やばい、くらい、ちくび  
勃<sup>た</sup>って……んぎゅうううっ！？

ち、ちくび噛<sup>か</sup>むな、あっ！うっ、あゝがっ、じゅるじゅる吸わ、れ、んひ  
いいんっ！！？おっ、あひっ、あゝはっ……！

ううっ、あがあっ、ひっ、ううんっ、やっ、おゝおゝんんん～～～  
～っ！？

あゝ……は……い……いつたああ……いつちやったああ……も、もう、  
もおげんか……あゝつつは………つつ！！？

ひ、100回伊って、孕むまでやめないって、そん、そんなの聞いて、  
おゝあゝあゝあゝ………！！？

ぜ、ぜんしん、おひつぶされて、種<sup>たね</sup>付けぷれ、しゅうううううううっ！  
くるひ、くるひいいいいいいんっ！？

うっ、おっ、おゝんっ、おゝおゝんっ、あゝあゝあゝあゝっ！

おっほ、おうっ、あゝんっ、んひあ、あゝはあっ！あゝん、あうっ、おっ  
ほ、おゝん、あっは、あゝあゝあゝうっ！

あゝ、やば、いぎゅ、いぎゅうう！？おゝひいつ、あゝあゝっ、おゝん  
っ、おゝあゝっ、おっほ、あううんっ！

もうやめ……あゝんっ！？いうゝ、いぐっ、いぐうっ、いぐう～～  
～～あゝっ！おあゝあゝっ、んおおゝ、あうゝうゝっ、あはあっ、んっひ、ひい  
いん！

ばかにっ、ばかになるうっ！？ぜ、ぜんひんイかされてっ、手足おさ  
えつけられてっ、逃げ場ないよおおっ！

誰か、助け……じゅるるるるるるるうっ！？（キスで口を塞がれる）  
んぶっ、んぶふっ、んぶうううううっ！んじゅっ、じゅぞっ、じゅっ、じ  
ゅぞぞぞっ、んぶっ、んじゅっ、じゅるっ！じゅぞっ！んじゅっ！  
んじゅう～～～～ぶはあっ！

はっ！はっ！はあっ！も、もうだめえ！お、おわり！おわりだから！  
ぜ、ぜったい中出しちゃだめ！

これ以上はほんとに墮<sup>お</sup>ちちや……………おゝんつつっ！！？  
あゝ —————っ……！あゝ —————っ……！あゝ  
んっ！あゝんっ！……中出し、され……！おゝんっ、おっほ、あ  
ひ、おうっ、あゝんっ！おっほおおお……！

おゝ……………おゝ……………うっ……………あゝ……………かはっ…  
……………おっほ……………うあゝ……………あゝん……………な、あ……  
……………あ、あゝ……………あっはあゝあゝ……………っ！？

あんんんっ！？だ…………めえ…………ぬい、たら、しお、でちゃ  
…………おっ…………ほおおお…………っ！  
がっ…………は…………っ！？おんつつ！！？

お…………あ…………う、お…………あは…………っ！？  
うっ…………ああん…………！あ…………が…………っ！  
……ご、ごめん、ねえ…………わ、わたひ、メスに……されちゃった  
あ…………

エピローグ 水晶に映るその顔は

(水晶から映像が浮かび上がり、衣服の乱れたメイアの姿が写る)

あ……映ってるの、かしら……？き、君……見えてる……？

あ、お、<sup>おどろ</sup>驚かせちゃったわよね。ご、ごめんね？

いま私は、その、<sup>おうじょう</sup>王城に、いるわ。<sup>かんきん</sup>別に監禁とか、そういうのじゃなくて、ただ呼ばれてここにいる、だけ

今はこっちの<sup>すいしやう</sup>水晶と、君の元にある<sup>すいしやう どうし つな</sup>水晶同士を繋いで、お互いの様子<sup>うつ</sup>を映しているの

だから、こっちからもそっちの様子は見えてるわ

げ、元気そうで安心したわ、フフ

……そ、そんなに不安そうな顔しない、で？

私はどこも<sup>け が</sup>怪我したりしてないし、これまで<sup>どお</sup>通り、君の<sup>ようえん</sup>妖艶で優しいお師匠様よ？何も変わらないわ

君のことは好きだし、甘やかしてあげたいし、たっくさん抱き締めてあげたい

何も……そう、何も変わってないの

……え？じゃあどうして帰ってこないのかって？

そ、それは、えっと、その……ある、事情があって

上手く言えないんだけど、ええと、王城<sup>おうじょう</sup>に、いてほしいって言われて  
るの

ほら、私<sup>いだい</sup>って偉大な魔法使いじゃない？だから、お師匠様みたい  
に、私も偉い人達に頼まれちゃって

指南役<sup>しなんやく</sup>として、王城にいてくれないかって

ほら、頼<sup>たの</sup>まれたら断るのも悪いから、ね

指南役<sup>しなんやく</sup>として働く代わりに、ここに住まわせてもらってるの

あ……も、もちろん期限付きよ？しばらく経<sup>た</sup>ったら、ちゃんと君の所  
に戻ってくるわ。だから、安心して待って……あっ！？

(突然王子が現れ、メイアの胸を鷲掴みにする)

ちょ、あなた何して……！？

あの子と話してる時は大人しくしてるって言ったじゃな、んひ  
っ！！？

ちょっと、いきなり乳首<sup>いじ</sup>弄らない、で……ひうつ！？

あ、ちょ、だめ、だって……あの子がみて、る、からあっ！

お……ひっ、は、あっ、だめ、だめ、だめええ……はあんっ！？

きもちよくなんか、ないって、ばああ……あひっ！？

や、やらっ、やら、あああああ、んくうっ！

ふっ、ふー、ふー……あなた、急に何してくれるのよ……！

約束は守りなさいよ……！

な、なによ。<sup>うそ</sup>嘘を言っておいてよく言うって。私は<sup>うそ</sup>嘘なんか、な、何一つついてないわ

私は<sup>しなんやく</sup>指南役として、この<sup>おうじょう</sup>王城に、んじゅううっ！？

こ、このっ、<sup>はな</sup>離しなさ……んぶふううっ！じゅっ、んじゅっ、じゅぶっ、じゅっ、じゅぞぞっ、んっふ、んふううんっ、じゅるっ、じゅじゅじゅぞっ、じゅぶぶっ、んじゅ〜〜〜っ！？ぷは、あっ……あ……！

ご、ごめんなさ、い……うそ、嘘ついてました、あ……！

え、えっと、そのお……さ、さっきの話、ほんととは、全部ちがってて、その……ほんととはワタシ、<sup>しなんやく</sup>指南役とかじゃなく、て……あの、だから……んぎゅっ！！？

あっ、あっ、あっ！？ご、ごめんなさい！

ちゃ、ちゃんと言うから許してっ！<sup>びんかん</sup>敏感なところ<sup>いじ</sup>弄らないでえっ！クリと、中の<sup>びんかん</sup>敏感なとこ、両方はあ……ああんっ！？

や、やめっ！やめてえええっ！言う！言います！

だからやめ、んひいいいんっ！わ、私は、私はあなたのメスになりましたああっ！<sup>しなんやく</sup>指南役とかじゃなくて、あなたに抱かれるためのメスになっちゃいましたあああっ！やああああん！

好きな時にっ、好きな場所でっ、好きなだけ中出しされる<sup>しよゆうぶつ</sup>所有物に<sup>お</sup>堕ちちゃったのおお！

で、でもっ、仕方がないのっ！君のことは大好きだけど、か、身体がこの人から離れられないのお！

<sup>ば か</sup>馬鹿みたいに大きいモノで、私の身体貪って、ぶちゅって子宮を何回も押し潰<sup>つぶ</sup>してくるのっ！

こ、こんなの知らなかったし、耳元で好きとか、俺のモノだ、とか<sup>ささや</sup>囁いてくるしい……さ、最初は抵抗<sup>ていこう</sup>してたけど、いつの間にか堕とされちゃってたあっ！

君は、心は満たしてくれるけど、身体は満たしてくれないの……君は、君は悪くない、から  
悪いのは、快樂なんかになけた私のせいだから……君は自分を責める必要なんかない、よおおおおほっつ！！？

おあゝっ……は……！うぞ……うしろから、いきなり、そうにゆうされ

……あゝあゝっは……！いれられただけで、伊っちゃ……おおゝあああ

……ん、はあゝ……だ、めええ……！

……え、もう一つの嘘も言え……？

な、なんのこ、んおおおおおっほ……！あ、あれのことですか、あ？

わ、わかり、わかりまひたあ……！

ほ、ほら、前に君に、いろいろ、報告してた、でしょお？

王子との勝負で圧勝した、搾り<sup>しぼ</sup>尽くしてやった、とかあ

あれ、ぜんぶ嘘なの……ほ、ほんとは、こうやってずっと、馬鹿みた

いにイかされまくってたの……

君に<sup>かつこうわる</sup>格好悪いとこ、見せたくなくて、嘘ついてたけど……ほんとは、

全部逆なんだあ……おおゝっほ……ごめん、ねえ

ずっと勝負に負けて、啼<sup>な</sup>かされて、メスにされてたの……もう、魔力

もほとんど吸われて、ただのメス<sup>どれい</sup>奴隷にされちゃった……だから、

ね。君のところには、もう帰れない、かも……

せめて、最後に、言わせて……君のこと、だいす、おゝひいいいいい

んっっ！！？

う、うぞ……子宮の中、入って……あゝんっっ！！？

あゝあゝんっ、おんっ、おっお、おゝおゝおおんっ、おうっ、あゝっ、ふううゝ  
んっ、おごっ、は、あゝっは！？

うで、掴<sup>つか</sup>まれて、犬みたいにい、犯されてる、のとおお……………！？  
やあっ、やああっ、うああああああっ、こんなかつこう、見せたくない、  
おゝおゝおゝおゝおゝっ……………！？

……………が……………あは……………だ、だい、だいじょうぶ、だからあ……………！

君は、私のことなんか、気にしないで、好きに生き、て……………おゝ  
おゝんっ！！？

おほ……………中だ、し……………おおゝっは……………んひ……………あゝあゝん…  
…あゝっ……………！で、てる……………でて、る……………あゝ……………あゝっはあ……………  
……………！

はあーっ、はあーっ、は、あ、は……………はっ、あ……………ひゅー、ひゅー……………  
わ、わたひ、かんぜんに、墮とされちゃった、みた、い……………♡

了